

# ブルーベリーの品種特性について

## 1 試験のねらい

本県におけるブルーベリーの適応性と品種特性を明らかにし、本県に適する優良品種を選定することを目的にして、ハイブッシュ系7品種、ラビットアイ系3品種について品種特性を調査した。

## 2 試験方法

供試品種は、昭和48年に果樹試験場盛岡支場から導入したハイブッシュ系コリンズ、ランコッカス、ブルークロップ、ブルーレイ、アーリーブルー、パークレイ、コビルの7品種及び東京農工大学から導入したラビットアイ系ホームベル、ウッダード、チフブルーの3品種、計10品種である。昭和54年までは苗ほで育成し、昭和55年3月に1.5×1.5m間隔に定植して昭和56年から特性調査を行っている。

## 3 試験結果及び考察

- (1) 生育と収穫期 表-1に示すとおりで、開花期までの生育は年による早晩はあるが品種間の差は比較的少なく、催芽期は3月中～下旬、展葉期は4月下旬の前半、開花期は4月下旬の後半～5月上旬である。収穫期はハイブッシュ系がラビットアイ系に比べて早い。ハイブッシュ系の収穫期は6月下旬～8月上旬で、コリンズが最も早く、コビルが遅い。ラビットアイ系の収穫期は早い年は7月20日～8月末、遅い年は8月1日～9月末である。
- (2) 樹の発育と収量 表-2に示すとおりで、全体としてハイブッシュ系に比べてラビットアイ系が樹勢強く、ハイブッシュ系品種の中ではコリンズとコビルが弱くて、ブルークロップとパークレイが強勢である。収量は樹勢が強い品種ほど1樹当たり収量が多いが、単位樹冠量当たり収量と併せてみて、ハイブッシュ系のブルークロップとアーリーブルーが多収性で、隔年

表-1 催芽期、展葉期、開花期及び収穫期 (昭56～58, 月/日)

品 種 名	催 芽 期		展 葉 期		開 花 期		収 穫 期	
	早い年	遅い年	早い年	遅い年	早い年	遅い年	早い年	遅い年
コ リ ン ズ	3/17	3/23	4/20	4/24	4/26～5/4	4/29～5/8	6/20～7/5	6/28～7/25
ランコッカス	3/17	3/21	4/20	4/24	4/26～5/5	5/1～5/9	6/23～7/5	7/1～8/1
ブルークロップ	3/16	3/22	4/20	4/24	4/26～5/8	5/2～5/11	6/23～7/14	7/1～7/21
ブルーレイ	3/16	3/23	4/20	4/26	4/28～5/8	5/5～5/11	6/29～7/20	7/6～7/21
アーリーブルー	3/15	3/21	4/20	4/24	4/28～5/8	5/1～5/8	6/29～7/20	7/6～8/1
パークレイ	3/16	3/23	4/20	4/25	4/28～5/11	5/5～5/11	6/29～7/14	7/11～8/10
コ ビ ル	3/14	3/21	4/20	4/25	4/26～5/5	5/5～5/11	6/30～8/3	7/11～8/10
ホームベル	3/14	3/20	4/16	4/24	4/28～5/11	5/6～5/16	7/20～8/16	8/1～9/22
ウッダード	3/14	3/20	4/20	4/24	4/28～5/11	5/3～5/12	7/20～8/23	8/1～9/22
チフブルー	3/14	3/20	4/20	4/24	4/30～5/11	5/7～5/16	7/30～8/28	8/1～9/30

注 開花期及び収穫期は期間を示す。

表-2 樹の発育と収量

品 種 名	樹 勢	樹 の 大 き さ				収 量 kg			隔 年 結 果 性
		樹 高 m	開 張 m	樹冠面 積 m <sup>2</sup>	樹冠容 積 m <sup>3</sup>	1 樹 当 たり	樹冠1m <sup>2</sup> 当 たり	樹冠1m <sup>3</sup> 当 たり	
コ リ ン ズ	弱	1.25	0.70	0.38	0.48	0.55	1.43	1.14	有
ランコッカス	中	1.74	1.09	0.95	1.66	2.60	2.29	1.29	〃
ブルークropp	やや強	1.90	1.25	1.21	2.33	3.55	2.86	1.48	少
ブルーレイ	中	1.60	0.95	0.71	1.14	1.57	2.20	1.37	有
アーリーブルー	〃	1.60	1.05	0.87	1.39	3.41	3.92	2.45	少
パークレイ	やや強	1.60	1.30	1.34	2.12	1.85	1.41	0.88	有
コ ビ ル	やや弱	1.30	0.90	0.64	0.83	0.93	2.08	1.61	〃
ホームベル	強	1.80	1.80	2.06	3.71	3.57	1.88	0.96	〃
ウッダード	〃	2.10	1.60	2.02	4.22	2.59	0.99	0.43	〃
チフブルー	〃	2.40	1.84	2.66	6.40	2.19	1.08	1.03	〃

注1. 樹の大きさは昭58落葉時。  
2. 収量は昭57, 58の平均。

表-3 果実品質（生食用としてみた場合、昭56～58）

品 種 名	平均果 重 g	屈折計示度 %	酸味	食味	ブルーム	概 評
コ リ ン ズ	1.8~2.1	8.5~13.0	やや多	良	多	大粒でブルーム多く、外観、食味良好。
ランコッカス	1.1~1.4	9.8~10.6	少	良	少	食味よいか小粒、ブルーム少なく、外観劣る。
ブルークropp	1.3~1.4	10.0~12.0	少	良	少	やや小粒でブルーム少ないが、食味良好。
ブルーレイ	1.0~2.1	11.0~12.0	やや多	やや劣る	多	小粒で食味劣る。
アーリーブルー	1.8~2.1	9.5~13.0	少	良	多	大粒でブルーム多く、外観、食味良好。
パークレイ	1.6~1.9	10.4~13.5	中	良	多	果粒やや大きくてブルーム多く、外観、食味良好。
コ ビ ル	1.8~2.1	10.9~11.0	多	やや劣る	多	大粒なるも酸味強く、食味やや劣る。
ホームベル	1.4~1.9	12.5~14.5	中	やや劣る	少	ハイブッシュ系の品種に比べると食味やや劣る。
ウッダード	1.7~1.9	12.0~12.5	多	やや劣る	多	〃
チフブルー	1.4~2.0	10.7~12.8	多	やや劣る	やや多	〃

結果性も少ないようである。

- (3) 果実品質 果実の大きさは、ハイブッシュ系ではコリンズ、アーリーブルー、コビルが大きくて、ランコッカスが小さい。ラビットアイ系ではウッダードが大粒である。生食用としての総合的な品質は、ラビットアイ系はハイブッシュ系に比べてやや劣るようであるが、実用的には各品種とも問題がないと考えられる。なお、食品工業指導所の好意によって、ジャム加工製品の品質調査を行ったが、各品種とも実用的に問題がないと認められた。

#### 4 結果の要約

ブルーベリーは、早生から晩生までの品種を組合せることによって、早い年は6月下旬から8月下旬まで、遅い年は7月始めから9月下旬まで収穫することができる。早生品種としてはコリンズ、ブルークropp、アーリーブルー、中生品種としてはパークレイ、コビル、晩生品種としてはウッダード、チフブルーなどが有望である。 (担当者 果樹部 青木秋広)